

地域ケア会議の実施状況

1. 個別会議について

平成30年度

(1) 参加者

高齢者相談センター 高齢者支援課 生活相談支援センター 民生委員 高齢者相談員 親族
介護サービス事業所 介護老人保健施設 医療機関 保佐人 司法書士 地域の商店 警察

(2) 主な問題点

主な問題点	件数
認知症	9
介護力	1
合計	10

*認知症かつ独居で、対応が困難になっているケースが多かった。様々なトラブルが課題になった。

・受診拒否 ・ゴミ屋敷 ・食事
・支援拒否 ・金銭管理 ・不衛生
・理解力低下 ・虐待 ・暴力
・迷惑行為 ・徘徊 ・服薬管理

徘徊、迷惑行為、ゴミ屋敷、虐待、暴力といった問題に関わる警察や近所の商店、受診拒否、服薬管理に係る医療機関、金銭管理に係る生活相談支援センターの出席により、課題解決に繋がっている。

令和元年度

(1) 参加者

高齢者相談センター 高齢者支援課 生活相談課 社会福祉協議会支部 生活相談支援センター
民生委員 高齢者相談員 親族 知人 ヘルパー 医療機関 司法書士
老人福祉センター職員

(2) 主な問題点

主な問題点	件数
認知症	5
独居 支援者なし	5
介護力	1
合計	11

*認知症と、独居で親族等との交流が全くないケースが多かった。

*子どものひきこもりが対応を困難にさせているケースが取り上げられた。

キーパーソンがいないケースの場合、知人やヘルパー、老人福祉センターなどからの情報により、支援が開始されることが多く、課題解決につながることも多い。

2. 圏域会議について

(1) 参加者 平成30年度 令和元年度

医師 歯科医師 薬剤師 作業療法士 高齢者支援課 地域包括支援センター職員
医療ソーシャルワーカー 社協支部 生活相談支援センター 警察 介護支援専門員
介護保険施設 ヘルパー事業所 民生委員 高齢者相談員 司法書士

(2) 主なテーマ

平成30年度

主なテーマ	件数
認知症関連	4
運転関連	2
障害の制度	2
成年後見制度	1
医療と介護連携	1
精神疾患	1
合計	11

* 認知症の問題として、徘徊、金銭管理、関わり方などがテーマになった。

令和元年度

主なテーマ	件数
認知症関連	3
支え合うまちづくり	2
成年後見制度	1
ACPIについて	1
地域防災	1
難病について	1
合計	9

* 認知症の問題として、キーパーソンがいないことや、意思決定などがテーマになった。

これまでのケア会議からみえる課題

- ・個別会議において、「課題は解決した」との結論にはなっているものの、認知症高齢者の問題については、本人と不安を感じている近隣住民が同じ地域で生活をしてくための「地域づくり」にまでは至らない。
- ・増加傾向にあるキーパーソンのいない独居高齢者の問題については、「介護保険」や「成年後見制度」についての知識の普及啓発は進んでいるものの、「サービスが必要な高齢者の早期把握」など、リスクの高い高齢者に対する課題が残されている。